

# 京都外国語大学 ラテンアメリカ研究所 紀要

## 2020

### <論文>

- Cambios diacrónicos en las actividades relacionadas con la obsidiana y su intervención por el Estado teotihuacano  
..... 嘉 幡 茂 1
- Sistemas de abastecimiento de obsidiana entre el Estado teotihuacano y las sociedades del valle de Toluca  
..... 嘉 幡 茂、ホセ・ルイス・ルバルカバ・シル、  
フリエタ・マルガリータ・ロベス・フアレス 29
- ミチョアカン州プレベチャ高原地区の「共同体的先住民自治」  
..... 小 林 致 広 61

### <研究ノート>

- メキシコ湾岸地方におけるユーゴ、アチャ、パルマと呼ばれる石製品の研究  
—ベラクルス州中部地方における発掘出土資料の分析から—  
..... 黒 崎 充 89
- マヤ南東部地域、チャルチュアパ遺跡タスマル地区に遺る B1-1  
複合建造物群の時期による変遷について  
..... 柴 田 潮 音 111
- 戦前日本におけるラテンアメリカ研究(Ⅱ)  
—大正末期～戦前昭和期における移民研究の進展—  
..... 辻 豊 治 143

### <調査研究報告>

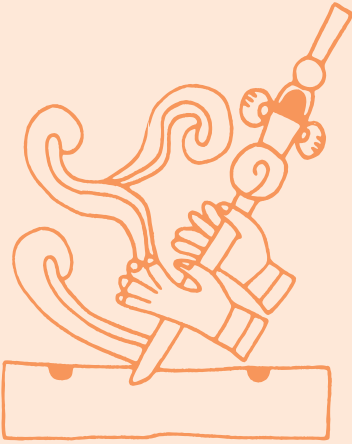
- Excavation at Nixtun-Ch'ich', Guatemala: Exploring the  
Material Culture of the Chak'an Itza  
..... 白 鳥 祐 子 167
- ニカラグアのカリブ海側における岩刻画の考古学調査および  
コミュニティ・ミュージアム活動に向けた研究  
..... 深 谷 岬、南 博 史、嘉 幡 茂、川 嶋 まどか 193
- 南米ボリビアのラパス県溪谷部のアイマラ語口承テキストとその考察  
—近隣の村に実在した蛇娘の伝承—  
..... 藤 田 護 215

### <研究展望・動向>

- メキシコの地方選挙における野党台頭の始まり  
—バハ・カリフォルニア州の地方選挙の事例—  
..... 吉 野 達 也 243

### <書評>

- 林 義勝著『スペイン・アメリカ・キューバ・フィリピン戦争—マッキンリーと帝国への道』  
..... 牛 島 万 249



〈研究展望・動向〉

## メキシコの地方選挙における野党台頭の始まり

—— バハ・カリフォルニア州の地方選挙の事例 ——

吉野達也\*

### 1 本研究を着想に至った経緯

メキシコの制度的革命党（以下 PRI）の一党優位体制が 2000 年に終焉してから 20 年以上が経過した。選挙競争という面で見ると現在では二大政党制あるいは、多党制に移行しており、政党システムの変移から見れば、メキシコにおける民主化は着実に進みつつあるという見解を持つことができる。2000 年の国政選挙、大統領選挙の結果によって PRI が下野し、国民行動党（以下 PAN）が与党となり、国家レベルの選挙結果を対象とした先行研究については相当な数が今日まで取り組まれてきた。

一方で 1980 年代の終わりから地方選挙においてはすでに野党候補の台頭が徐々に起こるようになった。特に州知事選挙においては PAN 候補者が勝利し、国政レベルよりも早い段階で選挙競争が活発に見られるようになった。現在、1989 年にバハ・カリフォルニア州（Baja California）の選挙で見られた野党台頭の事例について著者は研究を継続しており、本稿ではその研究動向について言及したい。

1980 年代当時、PRI の一党優位体制は未だ強く、地方選挙でも野党候補が勝利するのは容易ではなかった。バハ・カリフォルニア州のエンセナダ市（Ensenada）における 1986 年の自治体首長選挙では、野党の PAN 候補であったエルネスト・ルフォ候補（Ernesto Ruffo）が勝利し、そして 1989 年の州知事選挙でも同じくルフォが勝利を収めている。特に州知事選挙の結果は 1980 年代においては異例の結果で、地方選挙における野党台頭の始まりとして、大きな意義を持って取り上げられた。そして 1990 年以降、他州でも次々と州知事選挙において PAN や民主革命党（以下 PRD）といった野党候補者の勝利が見られるようになった。このようにバハ・カリフォルニア州の事例は、メキシコの選挙競争の黎明期に大きな影響を与えたという仮説をもって分析したい。

本稿では、これまで著者が先行研究や現地調査によって得られた情報を列挙し、今後の研究の進展について述べていきたい。

### 2 地方選挙における競争の活発化

メキシコでは 71 年間（1929～2000 年）におよんで制度的革命党（以下 PRI）が与党として君臨し、20 世紀の国家の政治体制を構築してきた。すでに先行研究で指摘されている通り、メキシコ革命（1910～1920 年）による社会や政治の動乱が沈静化する 1930 年代から、メキシコでは軍事クーデターによる政治体制の転換は見られなかった（González 1990:29-31）。この事実は、軍事クーデターを経験したラテンアメリカ諸国と比べると異なる状況であった。メキシコで早い段階から政治体制が安定した要因として挙げられるのは、PRI が労働者をメキシコ労働者連合（以下

---

\* 大阪経済大学等非常勤講師

CTM)、農民を全国農民組合連合（以下 CNC）にまとめ上げ、国民の大多数を自らのコーポラティズム（組合協調主義）の傘に取り込みながら国家を安定させた事にある。その結果、PRI は選挙において CTM や CNC などの組織から票を取り込めるようになり、野党候補の勝利が極めて起こりにくい状況を作り上げたことが挙げられる (Cornelius 1999:3-5)。1964 年から 1985 年の上院議員、下院議員の議席数における PRI の比率は 98 パーセントから 100 パーセントであり、野党の議席獲得は極めて限られていた (CIDAC データ)。その後、1980 年代前半の経済危機や民衆の権威主義へのけん制などをきっかけに、与党の覇権は徐々に衰退を見せた。PRI は選挙で安定した得票を見込むことが困難となり、選挙にからんだ不正の疑惑が報告されるようになった。1988 年の大統領選挙において PRI は 2 つに分裂した。当時 PRI が掲げた急進的な新自由主義体制に反発する党内の勢力が他の中小政党を結合し、PRI に対抗する大統領候補、カルデナス (Cárdenas) を擁立する。PRI の大統領候補サリナス (Salinas) は選挙に勝利したが、その選挙では様々な不正が疑われた (豊田 2013; Méndez 2007; Rodríguez 1999; Rodríguez and Ward 1999)。

また、ダイヤモンドとモリーノは民主主義の質に関して 5 つの定義を提示した。その内の 1 つが競争である。前述で選挙競争について扱ったが、もう少し具体的に言及すると、競争とは定期的な選挙実施や選挙競争の維持といった表面的な選挙システムの普及だけではない。さらには透明性の高い選挙が実施されているか、また自由を保障した政策が政治アクターによってどれだけ実行されて、どのような成果を挙げているのかという応答性も重視される (Diamond and Molino 2005:6-12)。

先述の通り、選挙競争は 1980 年代後半から国政選挙よりも活発に地方選挙において見られ始めた。メキシコの政党システムの変化について言及する場合、各地域においてパッチワークの様に政治的性格が異なり、連邦政府はどのような形で各州政府と交渉し、地方選挙の戦略を立てているかを考察する必要がある (Grindle 2007:63-65; Cornelius 1999:3-4)、地方選挙の事例研究を行う事は、メキシコの民主化の一端を理解するうえでも重要な点であると言える。

表 1 バハ・カリフォルニア州知事選挙の結果 (1983~1995 年)

	PRI	PAN	PRD※	有効投票率
1983	65%	30%	2%	100%
1989	42%	52%	2%	100%
1995	42%	51%	3%	97%

出典：INE (<http://www.ine.mx>)、CIDAC (<http://www.cidac.org>)

注) メキシコでの州知事の任期は 6 年である。バハ・カリフォルニア州では、1989 年から 2013 年の選挙、計 5 回にわたって PAN 候補が継続して勝利し、この州は PAN の牙城となった。

### 3 先行研究

PAN の先行研究を多く残しているロアエサは、メキシコにおける PAN の躍進を「古い野党から新しい与党へ、"De vieja oposición a nuevo oficialismo"」と称し、支持基盤が従来の資本家や聖職者、カトリック系の右派支持者に加え、1980 年代からはネオパニスモ (Neopanismo) と呼ばれる PRI の権威主義をけん制する新しい党員の加入が北部の州における州知事選挙の PAN 候補の勝利に繋がったと定義している (Loaeza 2010:125-134)。

ロペス・ウジョアはバハ・カリフォルニア州における1980年代以前のPANエリート層形成について考察している。1950年代から3つの州選挙にかかわった人々にインタビューを重ねた。そしてこの州には反中央集権主義（*antcentralismo*）が存在しており、従来のエリート層に加えてPAN 党員でない投票者にもPRIの権威主義に牽制する目的でPANへの投票行動が明確に見られた点を提示している。60年代には米国の学生運動の影響も地理的な要因から受けている点も指摘している（López Ulloa 2018:105）。

タニアはこれまでの党員に加えて、PANがより民主的な政党として、国民にとっての新しい政党選択肢となりつつあった点について言及している。1980年代からPANはこれまでの資本家や敬虔なカトリック教徒の支持基盤だけではなく、中小企業の経営者、大学生、都会を中心とした労働者にも広く、とりわけ若い知識層（大学生）がPANに入党し、PRIと二大政党制を構築してより健全な政治システムを構築することを目指そうとした。彼らは現在、PANの中核で重要な役割を果たす政治アクターとなっている（Tania 2000）。

ロペス・ウジョアも1989年の州知事選挙に勝利したエルネスト・ルフォを「ルフォが強調したのはPANが民衆利益の代表であるという点であり、蔓延していた政治システムへの不満を州レベルから改善することを試みた」と評価し、それが得票数の躍進に大きく寄与したと言及している（López Ulloa 2018:111）。

エスピノサとミスラヒは、1989年の州知事選挙の結果はメキシコ民主化の道が中央政府主導によるものだけではなく、地方から中央へ向けて影響を与える新しい道も生まれた瞬間であったと定義している（Espinoza 2000:68; Mizrahi 1995:180）。エスピノサはさらに1980年以降、PRIは脱中央集権化（*descentralización*）を推進し、州政府や自治体の自治もある程度認めつつあり、地方への権限譲渡はPRIの支持基盤が比較的弱い地域において、野党の躍進を生む1つの要因になったと言及している（Espinoza 1999:77）。ロペス・ウジョアは1989年の州知事選挙勝利はメキシコ選挙の歴史において投票者がPRI以外の政党も勝利の可能性が生まれ、本当の意味で政治の選択肢（*alternancia política*）が示された象徴的な選挙であったと提唱している（López Ulloa 2017:15）。また1990年代におけるメキシコ北部におけるPANの躍進と同様に、バハ・カリフォルニア州でも与党PRIとのつながりを持たない企業家達がPANの政治活動を支援しだした点が重要視されている。彼らはこれまで自分たちが受けてきた経済政策に対する不満、また1980年代において明るみに出たPRIの汚職問題に終止符を打たせるという強い決意を持っていた（*ibid.* 24-25）。

## 4 今後の研究の展開

### ① 国家レベルとバハ・カリフォルニア州レベルの政治的動向について

バハ・カリフォルニア州から起こった選挙競争がどのような形で国家レベルの政治や選挙に影響を与えたのかを選挙結果や他の一次資料を使いながら明らかにしていきたい。1989年当時、PRIは前年の大統領選挙での不正疑惑などで混乱しており、バハ・カリフォルニア州の結果も少なからず国政に影響を与えたと考えられる。

### ② PANが勝利した北部の州事例を比較

バハ・カリフォルニア州の事例は野党の台頭が初めて明確に表れたという点では特筆すべき事

例ではあるが、様々な事例と比較しどのような位置づけか可能かを考えていかなければならない。メキシコ北部の州知事選挙に限れば1992年にチワワ州（Chihuahua）で、1997年にはヌエボ・レオン州（Nuevo León）でPAN候補が勝利している。北部はPANの支持基盤である企業家が多く、経済的、社会的にもメキシコ中央部よりもアメリカ合衆国とのつながりが深く、これらの地域の事例を比較することで、PANの選挙での躍進に関して共通項を見出すことができるのではないかと著者は仮定している。

### ③バハ・カリフォルニア州におけるPAN州政権への評価

2019年の選挙で国民再生運動（Morena）のハイメ・ボニージャ（Jaime Bonilla）候補が勝利し、30年続いたPANによるバハ・カリフォルニア州の統治は終焉した。この国内で最も長く続いたPAN州政権への具体的な評価はまだ十分に実施されておらず、地方選挙における野党台頭からその終わりに至るまでPANの支持基盤の変化、各選挙の投票行動を実施することは選挙競争をつづじた民主化の縮図を理解するうえでも重要である。

### むすびにかえて

現在のメキシコでは国政選挙、地方選挙においても二大政党制を超えて多党制となり、国政、地方選挙いずれにおいても勝利する政党は毎度めまぐるしく変化しつつある。本稿で触れたバハ・カリフォルニア州の選挙事例は地方の事例ではあるものの、メキシコの政党システムが一党優位体制から二大政党制、多党制へ変化する過程において極めて重要な事例として比較、検討する余地が残されていると言える。地方から起こった選挙競争の活発化を今後も著者は主たるテーマとして考察を継続していきたい。

## 参考文献

豊田 紳

- 2013 「独裁国家における「上からの改革」メキシコ・制度的革命党による党組織／選挙制度改革とその帰結（1960～1980）」、『アジア経済』、54巻、4号、117-145頁
- 2015 「覇権政党支配下メキシコにおける忠誠政党・国民行動党の誕生、1965-1988」、『ラテン・アメリカ論集』、49号、1-19頁

Cornelius, Wayne A.

- 1999 “Subnational Politics and Democratization: Tensions between Center and Periphery in the Mexican Political System”, Wayne A. Cornelius, Todd A. Eisenstadt, and Jane Hindly (eds.) *Subnational Politics and Democratization in Mexico*, The Center for U.S. -Mexican Studies, University of California, San Diego, pp.3-18.

Diamond, Larry, and Leonardo Morlino

- 2005 *Assessing the Quality of Democracy*, The Johns Hopkins University Press, Baltimore.

Espinoza Valle, Víctor Alejandro

- 1996 “Alternancia y liberalización política. El PAN en el gobierno de Baja California”, *Frontera Norte*, vol. VIII, núm. 16, El Colegio de la Frontera Norte, pp.21-35.
- 1999 “Alternation and Political Liberalization: The PAN in Baja California”, Wayne A. Cornelius, Todd A. Eisenstadt, and Jane Hindly (eds.), *Subnational Politics and Democratization in Mexico*, The Center for U.S.-Mexican Studies, University of California, San Diego, pp.73-84.
- 2017 “Bipartidismo, participación y alternancia. Dos décadas de elecciones en Baja California”, Juan Poom Medina, and Eduardo Manuel Trujillo Truji (coords.), *20 años de alternancia electoral en el noroeste de México*, Instituto Nacional Electoral, pp.51-79.

González Casanova, Pablo

- 1990 *La democracia en México*, Ediciones Era, México D.F.

Grindle, Merilee

- 2009 *Going Local, Decentralization, Democratization, and the Promise of Good Governance*, Princeton University Press, Princeton.

Guillén López. Tonatiuh

- 1995 “Alternancia y nuevas prácticas del poder político: las elecciones de 1994 desde la experiencia regional”, Germán Pérez Fernández del Castillo, Arturo Alvarado M., and Arturo Sánchez Gutiérrez (coords.) *La voz de los votos: un análisis crítico de las elecciones de 1994*, Miguel Ángel Porrúa, México D.F., pp.325-345.

Loeza, Soledad

- 1988 *Clases medias y política en México*, El Colegio de México, México D.F.
- 2010 *Acción nacional: el apetito y las responsabilidades del triunfo*, El Colegio de México, México D.F.

López Ulloa, Luis Carlos

- 2002 “Alternancia política y gobiernos locales en México”, *Estudios Sociológicos*, vol. XX. núm. 58, pp. 67-89.
- 2017 *Ruffo: Confesiones y conversaciones con el primer gobernador de oposición en la alternancia mexicana*, Amazon.
- 2018 “La oralidad y la participación política. El capital político de los panistas de Baja California, 1959-1971”, *Internacionales. Revista en Ciencias Sociales del Pacífico Mexicano*, núm. 4, pp.78-108.
- 2019 “Relato, oralidad, identidad narrativa: Ernesto Ruffo Appel, el PAN y cultura política en el noroeste de México, 1986-1989”, *Escripita, Revista Historia*, vol. I, núm. 1, pp.96-114.

Méndez de Hoyos, Irma.

- 2006 *Transición a la democracia en México, competencia partidista y reformas electorales 1977-2003*, FLACSO México, México D.F.

Mizrahi, Yemile

- 1995 “Democracia, eficiencia y participación: los dilemas de los gobiernos de oposición en México”,

吉野 達也

*Política y gobierno*, vol. XI, núm. 2, pp.177-205.

Tania Hernández, Vicencio

2000 “El PAN en Baja California. Diez años de transformaciones”, *El Cotidiano*, vol.XVI, núm.100, pp. 206-216.

ウェブページ (いずれも最終閲覧日は 2020 年 12 月 25 日)

“INE” <http://www.ine.mx>

“CIDAC” <http://www.cidac.org>.





# BOLETÍN del

Instituto de Estudios Latinoamericanos  
de la Universidad de Estudios Extranjeros de Kyoto

Instituto de Estudos Latino-Americanos  
da Universidade de Estudos Estrangeiros de Kyoto

## 2020

### <ARTÍCULOS>

Cambios diacrónicos en las actividades relacionadas con la obsidiana y su intervención por el Estado teotihuacano

..... Shigeru KABATA 1

Sistemas de abastecimiento de obsidiana entre el Estado teotihuacano y las sociedades del valle de Toluca

..... Shigeru KABATA,

José Luis RUVALCABA SIL y Julieta Margarita LÓPEZ JUÁREZ 29

Retos para la autonomía comunitaria entre los municipios de la meseta purépecha, Michoacán

..... Munehiro KOBAYASHI 61

### <ESTUDIOS PRELIMINARES>

Análisis de los contextos asociados con esculturas en piedra llamadas yugos, hachas y palmas en el Centro de Veracruz, zona costera del Golfo de México

..... Mitsuru KUROSAKI 89

Desarrollo constructivo del complejo arquitectónico B1-1 en el área de Tazumal de la zona arqueológica Chalchuapa en la Región Sureste Maya

..... Shione SHIBATA 111

Estudios latinoamericanos en Japón antes de la Segunda Guerra Mundial ( II )

..... Toyoharu TSUJI 143

### <NOTAS DE INVESTIGACIÓN>

Excavation at Nixtun-Ch'ich', Guatemala: Exploring the Material Culture of the Chak'an Itza

..... Yuko SHIRATORI 167

Estudio arqueológico de los petroglifos e investigación para los museos comunitarios en la Costa Caribe de Nicaragua

..... Misaki FUKAYA, Hiroshi MINAMI,  
Shigeru KABATA y Madoka KAWASHIMA 193

Textos orales en aymara desde los valles del Departamento de La Paz, Bolivia: sobre una mujer de una comunidad vecina que da luz a una niña serpiente

..... Mamoru FUJITA 215

### <INFORME DE INVESTIGACIÓN>

El inicio de la alternancia en la elección local de México: el caso del Estado de Baja California

..... Tatsuya YOSHINO 243

### <RESEÑA DE LIBROS>

*La Guerra hispano-norteamericano-cubano-filipina: McKinley y su camino hacia el imperialismo* por Yoshikatsu Hayashi

..... Takashi USHIJIMA 249



Vol.

20